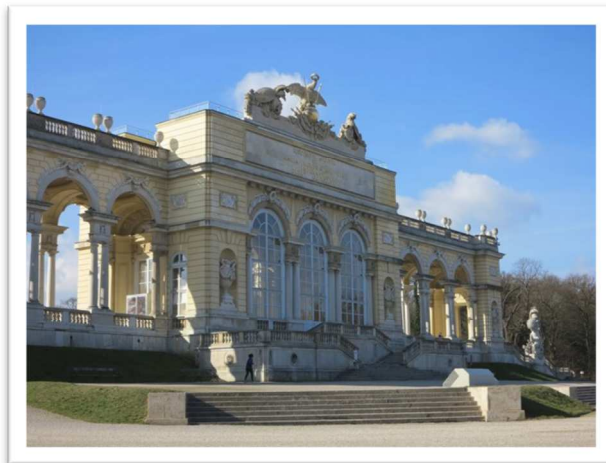


日本発ウィーン便り：Schloss Schönbrunn 散歩のススメ（後編）



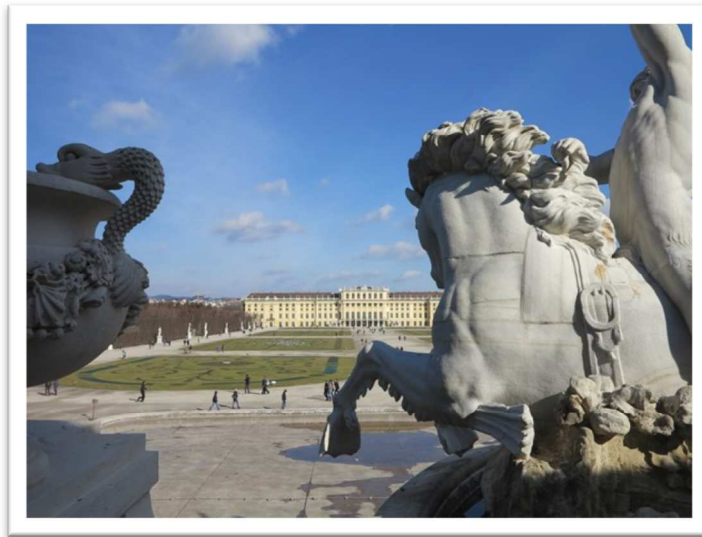
丘の上から見える、このパノラマと



この風景を楽しんで心にしっかり焼き付けたら、「またここに帰ってくるね」と約束して、宮殿に向かって丘をくだっていきます。ここから先も私の定点観測ポイントがたくさんありますよ。☺



同じ場所から、左が冬で右が春の風景です。お気に入りの風景の一つですが、どこからでしょう？
答えは、噴水の裏側から。冬の間は水が凍ってしまうので、噴水は止まっています。

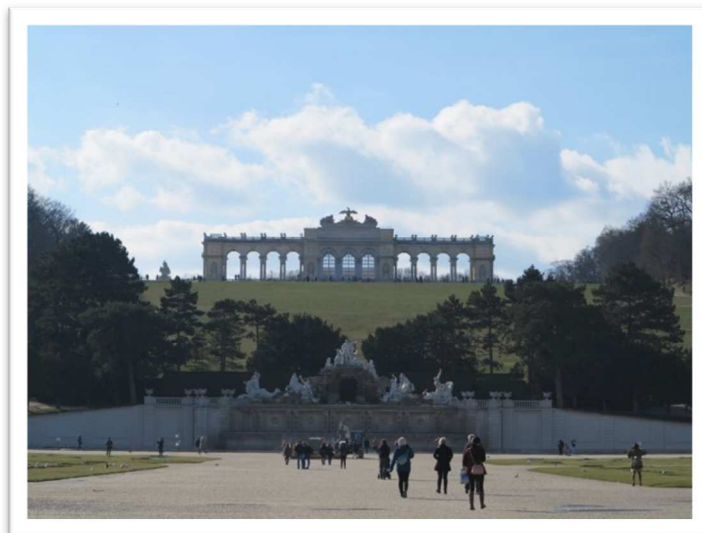


同じく噴水の彫刻の隙間から。ここも結構お気に入り。



随分前に一度説明を聞いただけなので、かなりうろ覚えですが、この庭園に面した側がお城の「表側」なんだそうです。

理由は庶民からも見える入り口に面した側は「裏側」で、招待された・もしくはこのお城に住む人しか見らないこちら側が「表側」。そう聞くとなんだか説得力があって私は納得していますが、真偽のほどは不明です。



振り返って見ると、さっき下って来た Gloriette の丘と、裏側から景色を楽しんだ噴水が見えています。☺



↑このお城の正面のバルコニーには上がることができます。
バルコニーから見える風景、ちょっと目線が変わります。女帝マリア・テレジアの部屋からは、Gloriette
が正面に見えるようになっている、と聞いたことがあります。まさにこの眺めですね。(あ、でもここは「夏」
の離宮なので、マリア・テレジアさんもこの Gloriette の冬の雪景色はご存知ないかもしれませんね。☺)



季節や天候を問わず、いつ、何度行っても違う表情を見せてくれる、大好きなお城です。豪華絢爛なお城
の中は時々見ればいいのか？という感じですが、カメラ片手に、季節を感じながら、庭園～森～丘までの
んびり散歩はウィーンに行ったら、必ず行きます。(天候や時間帯によっては Gloriette の丘は省略するこ
ともありますが…) 散歩の途中、リスやカモに出くわしたり、といった楽しい驚きもありますよ。☺

歩きやすい靴持参で、のんびりとお城の庭園を散歩。ウィーンに行ったら是非お試しください！